

草津市産業振興計画の策定について (概要説明)

令和 3 年 6 月

草津市 環境経済部 商工観光労政課

1. 草津市の概要
2. 計画策定の趣旨・背景
3. 計画の体系・構成
4. 計画策定・公表までの流れ
5. 本日の論点
6. (参考1) 総合計画における産業振興の方針
7. (参考2) 市全体における計画の位置付け

1. 草津市の概要（1/2）

面積：67.82 km²（琵琶湖の湖水面含む）

人口：136,254人（住民基本台帳人口：令和3年3月末時点）

鉄道：JR南草津駅（乗降客数県内1位）、JR草津駅（乗降客数県内2位）

事業所数：5,089事業所（1位：卸売・小売業、2位：宿泊・飲食サービス業、3位：生活関連サービス・娯楽業）

従業員数：72,869人（1位：製造業、2位：卸売業・小売業、3位：宿泊業・飲食サービス業）

製造品出荷額：6,583億円（1位：電気機械器具、2位：輸送用機械器具、3位：電子部品・デバイス・電子回路）

観光入込客数：3,160千人（宿泊・日帰り含む。令和元年度県内6位）

将来のまちの構造（第6次草津市総合計画基本構想より）

湖岸・農業・再生ゾーン

→ 農業や水産業等の振興を図るとともに、生活機能の確保や歴史・文化等の地域資源の活用等による地域再生を促進するゾーン

まちなか・にぎわいゾーン

→ JR草津駅・JR南草津駅を中心とする市街地であり、誰もが楽しめる“都市部”として、賑わいを創出するゾーン

丘陵・産業・交流ゾーン

→ 製造業等の産業活動を促進するとともに、大学を中心とした様々な分野の人材育成・研究・開発のほか、福祉、医療、文化等の交流活動を促進するゾーン



1. 草津市の概要 (2/2)

- ・ 市内事業所に占める **中小規模企業** (従業員数100人未満) の割合は **97.7%**

→ 県：98.2% / 大津市：98.4% / 守山市：97.8% / 栗東市：98.4% / 野洲市：97.5%

- ・ 全従業者数に占める **中小規模企業に属する従業員数の割合**は **62.2%**

→ 県：70.1% / 大津市：72.3% / 守山市：70.9% / 栗東市：75.8% / 野洲市：58.7%

- ・ **昼夜間人口比率**は **107.1%** (市外から通勤・通学される人口が多い)

→ 県：96.5% / 大津市：91.1% / 守山市：90.6% / 栗東市：98.3% / 野洲市：99.2%

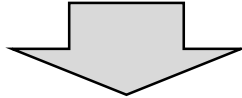
- ・ **小売中心性指標**は **1.49** (市外からの顧客が多い)

→ 大津市：0.80 / 守山市：0.95 / 栗東市：1.11 / 野洲市：0.84

2. 計画策定の趣旨・背景

これまで...

草津の強みを活かした産業の高度化と活力ある都市の推進を目指し、主要産業である製造業やソフトウェア開発などIT産業を対象とした「**工業の振興計画**」を策定。

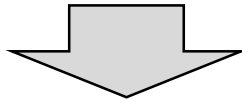


現在の経済社会情勢

- ・ 少子高齢化、人口減少、市場の縮小・成熟化
- ・ 人手不足、事業承継（労働人口・後継者不足）
- ・ 働き方の多様化
- ・ Society 5.0 社会の実現
- ・ 持続可能な社会の形成
（SDGs・カーボンニュートラル）

新型コロナウイルスの感染拡大

- ・ 売上の減少、従業員の解雇・雇止め
- ・ 非対面、非接触（業態変更・事業再構築）
- ・ テレワーク、サテライトオフィス等の活用
- ・ デジタル化の推進／IoT技術の活用

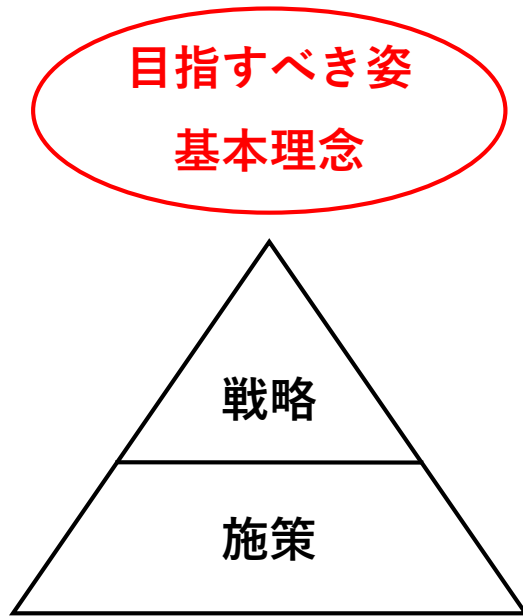


これから...

- ・ 中長期的視点の下、目指すべき姿とその実現に向けた戦略を定めた「草津市産業振興計画」の策定
- 業種を問わない**共通課題への対応**、産業構造・時代の変化を踏まえた「**産業全体の振興施策**」の在り方について検討する。

3. 計画の体系・構成

【体系】



※ 各主体の役割を明確にした上で、
「目指すべき姿」「基本理念」を実現する
ために必要な「戦略」「施策」を定める。

【構成】

1. 策定の趣旨等

- ・趣旨と背景
- ・計画期間、構成

事務局にて整理・提示

2. 本市産業の現状と課題

- ・産業を取り巻く状況
- ・産業施策の課題

3. 各主体の役割、目指すべき姿・基本理念

審議会にて審議いただきながら作成

4. 戦略・施策

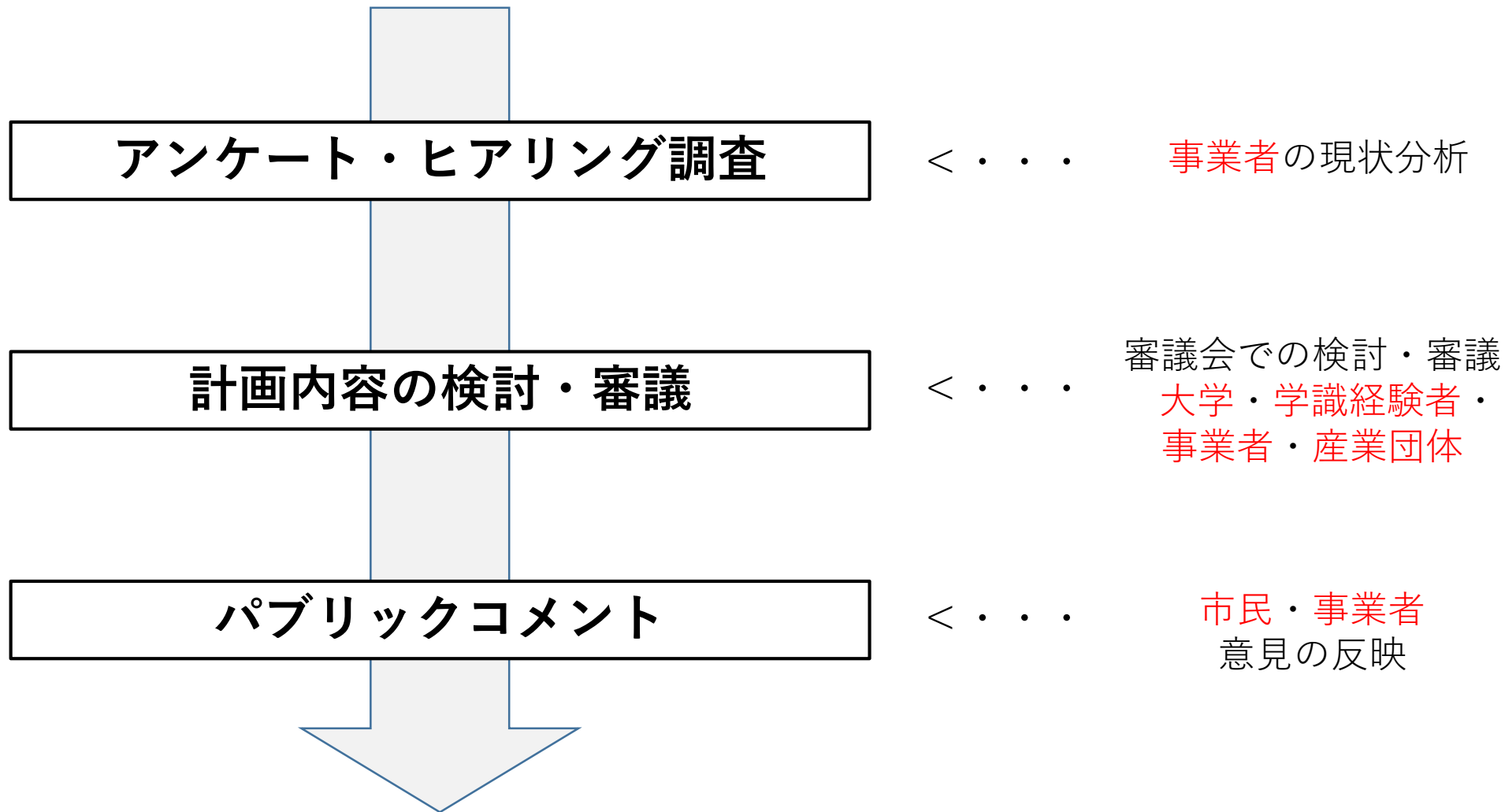
審議会にて審議いただきながら作成

5. 計画の推進方策

- ・推進体制
- ・スケジュール

事務局にて整理・提示

4. 計画策定・公表までの流れ



草津市産業振興計画の策定・公表

(計画期間：10年間(令和5～14年度))

5. 本日の論点

論点1：計画の対象分野

策定する**産業振興計画の対象分野**について、審議をお願いします。

- ①：産業振興計画では、従来までの製造業を中心とした「工業」のみを対象とするのではなく、「商業」や「観光」など**産業を幅広く捉えた「産業」全体を対象**とする。
- ②：別途「農業振興計画」を策定中のため、「**農業**」は**対象分野には含まないものの、6次産業化や農商工連携などの領域は、本計画の対象分野**とする。

論点2：検討すべき共通課題

計画策定の中で**議論すべき共通の課題**について、審議をお願いします。

①：創業支援

ポイント → 創業の必要性、各支援機関の役割分担
インキュベーション施設の活用（3施設）

②：異業種間連携の推進

ポイント → 農商工連携などによる新事業創出
産学連携の促進

③：人材不足

ポイント → 学生と企業のマッチング
地元就職の促進

④：事業承継

ポイント → 経営者の高年齢化や後継者不足

⑤：企業立地施策の今後の展開

ポイント → 工業系用途の未利用地の不足
市内企業への支援の充実等

⑥：既存施策の見直し・新たな方向性等

ポイント → 産業構造の変化を踏まえた支援制度の見直し
ICT・IoT・AIなど第4次産業革命への対応、カーボンニュートラル

6. (参考1) 総合計画における産業振興の方針

第6次草津市総合計画 基本構想

まちづくりの基本目標

- ・「こころ」育むまち
- ・「笑顔」輝くまち
- ・「暮らし」支えるまち
- ・「魅力」あふれるまち
- ・「未来」への責任

第6次草津市総合計画 第1期基本計画

分野：「**商工観光**」 基本方針：「**商業の振興**」「**工業の振興**」「**観光の振興**」

「**商業の振興**」

- ・地域商業を活性化させるため、関係団体と連携して、商業基盤の強化を図ります。

「**工業の振興**」

- ・工業振興を促進するため、立地環境の優位性を生かし、企業の集積を図るとともに、異業種間連携や産学連携を推進します。

「**観光の振興**」

- ・地域観光を活性化させるため、観光事業者、関係機関、関係団体等と連携して、日本遺産などの歴史・文化、産業、自然等の観光資源の発掘、磨き上げや魅力の発信などを行います。

7. (参考2) 市全体における計画の位置付け

第6次草津市総合計画

草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略

草津市健幸都市基本計画

分野別個別計画

産業振興の諸計画

草津市農業振興計画

草津市産業振興計画

草津市中心市街地活性化基本計画

その他の諸計画

草津市地域公共交通網形成計画

草津市都市交通マスタープラン

草津市都市計画マスタープラン

草津市立地適正化計画

草津市環境基本計画

草津市男女共同参画推進計画

...

...